

講演会型＋子育てサロン型（幼小中合同）

学校名等	中津川市立 神坂幼稚園 神坂小学校 神坂中学校
実施日時	令和元年10月2日（水）13：00～13：50
会場	中津川市立神坂小学校
参加人数	神坂地区幼小中の保護者21名
学習課題（分野）	子育てサロンの会「親のための読み聞かせ講座」
運営者の願い	神坂地区では、幼稚園、小学校、中学校の母親委員会で、合同の家庭教育学級を開催している。毎年、この時期に「子育てサロンの会」を開催し、子どもの12年間の様子を交流している。今年度は、園や学校で読み聞かせをするときのコツを学びたいと考え、読み聞かせ講座を開催した。

学習の内容

校区の幼小中の保護者が一緒に家庭教育について学び合う家庭教育学級

<活動について>

神坂地区の家庭教育学級は、幼小中合同で開催している。午後からの授業参観の前に開催し、保護者が参加しやすい工夫がされている。会場では、グループになって座り、お茶やお菓子も用意されていて、和やかな雰囲気の中で、保護者同士交流しながら楽しく学んでいる。

「読み聞かせ講座」は、会議室の前面いっぱい並べられた絵本の前で、「せきとりしりとり」の楽しい読み聞かせから始まった。絵本の紹介を交えながら、読み聞かせボランティアとして児童生徒に読み聞かせをするときや、わが子に読み聞かせをするときの、具体的な「コツ」を学ぶことができた。

<活動の内容>

テーマ：「不特定多数の人に公共の場所で読み聞かせをするために」

講師：中津川市立図書館ボランティアコーディネーター 吉村 あづさ 氏

- ・そもそも「読み聞かせ」はなんのためにあるのでしょうか？
「わくわくどきどき」の瞬間→幸福な時間を過ごしてもらう。
「絵本そのもの」を伝える →作者に代わって伝える。
「本」との出会いをつくる →本に親しむきっかけをつくる。
- ・ちょっとしたコツをつかむと読み聞かせ名人に！

本の準備→対象年齢や時間を聞く・その場の雰囲気に合わせる
必ず下読みをする・新しい本は開きグゼをつける

身体の準備→滑舌トレーニング・声の大きさ・立つか座るか
無理のない姿勢と本の持ち方

一番大切なのは笑顔→やさしい笑顔を忘れない

- ・対象年齢に合った本の選び方
乳幼児・小学校低学年・小学校高学年・中高生・高齢者等
- ・やってみよう、読み聞かせ
挨拶と自己紹介からスタート。表紙を見せてタイトル、作者名、出版社を読む。ゆっくりめくり、終わってもすぐに閉じないで間をとる。

<参加者の質問から>

- ・読んでいる途中質問攻めにあいます。
→最後まで読み進める。目を合わせて「あなたのことはちゃんと分かっているよ」と納得させる。
- ・絵の見せ方、見やすいようにするよい方法は？
→子ども達を中心に絵が真ん中になるような位置に立つ。
- ・どんな本を選んだらいいの？→子ども達が楽しめるもの。
- ・文字が読めるようになってからも読み聞かせは効果があるの？ →幸せな時間の共有という効果 等

<講座の中で読み聞かせをした本> 「せきとりしりとり」

「どんなかんじかな」「たべもんどう」「うんこ」「あなたのことが大好き」

<講座の中で紹介した本> 「うんちしたのはだれよ！」「とてもおおきなサンマのひらき」「おかん」

「ガスこうじょうききいっぱつ」「ねえ だっこして」「やまんばのにしき」



「せきとりしりとり」の読み聞かせ



グループに分かれ、お茶とお菓子で和やかに



副委員長からお礼の挨拶



「学び」が多い内容

「読み聞かせの時は、椅子を横にして背もたれに肘を乗せて本を持つといいです」「鏡の前で練習すると子どもからどう見えているか分かります」等、具体的なコツをたくさん教えていただき、参加者が、「やってみよう」と思える、すぐに役立つ講座だった。



参加しやすい日程

午後からの授業参観の前の時間を使って、子育てサロンの会を開催し、保護者が参加しやすいよう、日程が工夫されていた。



幼小中の連携

神坂地区の幼小中が、合同で家庭教育学級を開催していて、12年間の子どもの発達を見通した交流がされている。また、神坂地区の保護者のつながりができ、地域で子ども達を見守っていくことができる。